



令和3年1月29日

報道機関 各位

東北大学大学院国際文化研究科
MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
MS & ADインターリスク総研株式会社

寄附講義「プロジェクトリスクマネジメントⅡ」を開講
MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社と
MS & ADインターリスク総研株式会社の寄附を受けて寄附講義を開講

【発表のポイント】

- 社会におけるリスクとその対策および持続可能な開発についての理解を深めることを目的とした寄附講義を開講
- 保険事業やリスクマネジメント理論に加え、ESG・インパクト投資、高齢化社会、自動運転、人工知能など最新の話題について講義
- グローバルリスクマネジメント、世界のプラスチックごみ、開発途上国の災害リスクマネジメントや国際協力などSDGsに関するトピックも幅広く扱う

【概要】

東北大学大学院国際文化研究科は、2021年2月4日よりMS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社（取締役社長 グループ CEO：原 典之）とMS & ADインターリスク総研株式会社（社長：中村光身）の寄附を受けて、寄附講義「プロジェクトリスクマネジメントⅡ」を開講します。

今年度で2回目を迎える本寄附講義は、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、グローバル人材育成や知の創出に資することを目的として開講するものであり、MS & ADインシュアランス グループはその趣旨に賛同し、サステナビリティ活動の一環として協力するものです。

東北大学は、「東北大学復興アクション」と「社会にインパクトある研究」を両輪とする「東北大学版 SDGs」を新たな社会連携の取り組みとして位置づけております。「社会にインパクトある研究」では、持続可能で心豊かな社会の創造のため、持続可能環境の実現、安全・安心な社会の構築などを掲げ、社会連携による多様なセクターとのパートナーシップのもと、SDGsの達成に貢献します。

また、MS & ADインシュアランス グループでは、2018年度にスタートした中期経営計画「Vision 2021」において、2030年に目指す社会像として「レジリエントでサステナブルな社会」を掲げました。社会を取り巻く多様なリスクや社会的課題に向き合い、安定した人々の生活や活発な事業活動を支えるビジネスモデルの推進によって持続的に成長し、SDGsの達成に貢献していきます。

【講義の概要】

1. 特徴

本講義では、社会におけるリスクとその対策および持続可能な開発についての理解を深めることを目的に、保険事業やリスクマネジメント理論に加え、SDGsに関するトピックを幅広くテーマとし、大学教員コーディネートのもと、当該分野の専門家やMS & ADインシュアランス グループの役職員がゲストスピーカーとして講義を行います。

2. 講義の内容

(1) 講義名：「プロジェクトリスクマネジメントⅡ」（集中講義）

※リモートでの開催となります。

(2) 担当：東北大学大学院国際文化研究科 劉庭秀教授

(3) 単 位：2単位

日付	講師名	所属	講義テーマ（仮題）
2月4日	劉庭秀	東北大学大学院国際文化研究科 教授	オリエンテーション
	平賀 暁	マーシュブローカージャパン会長 日本保険仲立人協会 会長	グローバルリスクマネジメントと保険
	中川 淳	MS&AD インターリスク総研 基礎研究部 上席研究員	ESG・インパクト投資
	杉澤 登	MS&AD インターリスク総研 基礎研究部 シニア研究員	認知症の現状と予防
2月5日	須藤 勝義	日本環境衛生センター 総局 国際協力部 部長	世界のプラスチックごみ問題と解決 に向けた取組
	宇佐 祐樹	MS&AD インターリスク総研 次世代モビリティ室 主任コンサルタント	CASE・自動運転
	土居 英一	MS&AD インターリスク総研 基礎研究部 上席研究員	人工知能のいま
	新納 康介	MS&AD インターリスク総研 基礎研究部 基礎研究グループ長	途上国向けの金融サービス
2月6日	小林 雪治	JICA 東北 所長	東北からSDGs ～JICAの取り組み～
	小林 雪治	JICA 東北 所長	国際協力事業とリスク管理 ～イランでのJICA事業を事例として～
	佐藤 一郎	JICA 東北 次長	開発途上国における災害リスクマネジメントとリスクファイナンス
	佐藤 一郎	JICA 東北 次長	不確実な状況下での気候変動適応策
	劉庭秀	東北大学大学院国際文化研究科 教授	授業の総括

以 上